

千酌地区 経営体育成基盤整備事業（農業生産法人等育成型）



千酌地区

【事業概要】

受益面積：21.8ha
 工期：平成18年度～平成23年度
 総事業費：509,000千円
 農業経営のタイプ：組織経営（生産法人）

【地区の概要】

千酌地区は松江市美保関町の日本海側に位置し、急峻な山に囲まれた水稻を中心とする山間農業地域です。

地区内の水田は1区画あたり2～10haと狭小で不正形であるため安定的な農業経営に取り組めない状態となっていました。

このため、農家の兼業化、高齢化が進み、耕作放棄地が徐々に増加している状況でした。

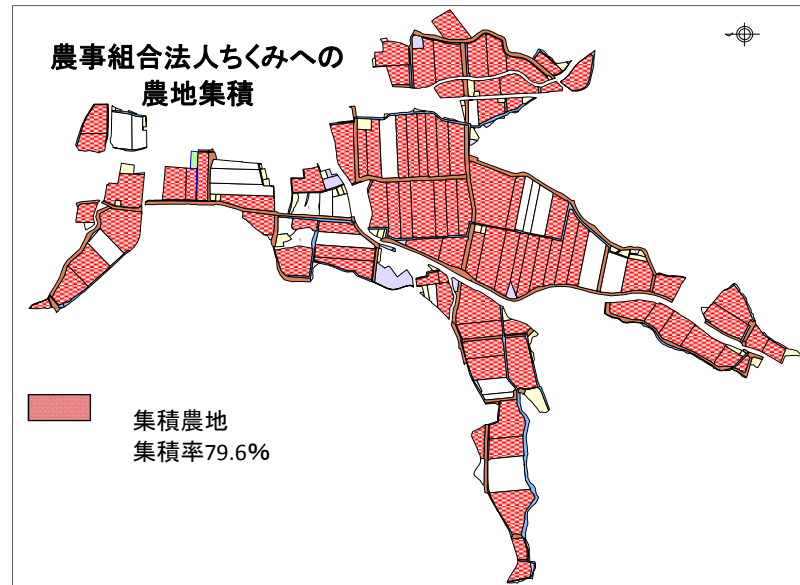
【基盤整備の概要】

10a未満で不整形だった農地を、40aの標準区画として整備し、併せて道路・水路の整備を行い、大型機械による法人経営が図られるよう整備を行いました。特に水路は自然圧パイプライン方式とし、水管理労力と維持管理費を低減しています。

また、暗渠排水整備により水田の汎用化も図っています。

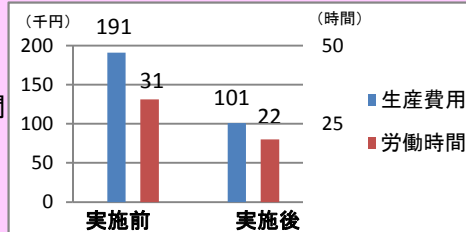
【担い手の育成と農地集積】

事業を契機として、平成23年4月に「農事組合法人ちくみ」が設立され、地区内農地の約8割を集積しています。山からの豊富で清廉な用水を活かし、水稻を中心とした営農を行っています。



【事業実施の効果(水稻の年間10aあたり)】

- ・生産費用の縮減191千円 ⇒ 101千円
- ・労働時間の短縮 31時間 ⇒ 22時間



～農家の声～

【ほ場整備の効果】

- ・大区画ほ場となり、道水路も整備され、効率が良く安定した農業経営ができています。
- ・用水路を自然圧パイプライン方式としたことで水管理労力を大幅に削減できています。
- ・農事組合法人には集落の大半が加入し、農業後継者の不足も解消できています。
- ・個人農家も以前に比べ農作業時間が短縮され、収益と生産性が向上している。
- ・持続可能な農業を営んでいける基盤となり、地域の若者の関心も芽生えつつある。

【今後の組み】

- ・水稻以外の作物栽培や加工食品の製造など、地域の特色を生かした取り組みを行っていきたい。



整備前



整備後